

＜米山記念奨学会委員会セミナー報告：並木幸雄委員長＞

8月24日（日）1時30分から千葉で行われました。
会長と二人で出席いたしました。



- ・米山学友活動について・・・学友会副理事より
- ・ロータリー米山記念奨学会事業の現状について、会事務局長より卓話がありました。
- ・学友会からは、これまでの支援に対する感謝と国際理解と親善に寄与したいとのことでした。
- ・今後も多くの外国人留学生にたいして、奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援していく。
- ・世話クラブとカウンセラー制度の普及。ロータリアンと奨学生との交流の推進を図る。
- ・これら事業の財源である寄付金の確保に努力と会員の皆様のご理解とご協力をお願いする。10月中に一人1万円の寄付を募る予定ですのでよろしくお願い致します。
- ・米山月間の10月28日（火）に米山地区委員、奨学生による卓話を依頼しております。
奨学生名：リュウ ヤウキオンさん
出身国：マレーシア
留学先：東京大学修士課程2年 人間環境学専攻

＜東南アジアでポリオ撲滅を達成＞

3月27日、世界保健機関(WHO)は、東南アジア地域でポリオ撲滅が達成されたことを公式に宣言しました。これは、同地域での長年にわたるポリオ撲滅活動が実を結び、ついに撲滅が達成されたものです。東南アジアに含まれるインドは、5年前に全世界のポリオ感染数の半数近くを占めていましたが、2011年1月13日に西ベンガル州で最後の野生型ポリオウイルス感染が報告されて以来、ポリオのない状態が続いていました。



「今回の達成は、[世界ポリオ撲滅推進計画\(GPEI\)](#)にとって大きな節目となる」と話すのは、ロータリー財団の管理委員会委員長を務める李東建氏。3月27日にインドのニューデリー州で開かれた[WHO 東南アジア地域ポリオ根絶認定委員会](#)の会合に出席し、撲滅達成の重要性をあらためて強調しました。「ついに、東南アジアからポリオをなくすことができましたが、残るアジア地域とアフリカでも、撲滅を達成しなければなりません」今回、ポリオ撲滅が宣言されたのは、バングラデシュ、ブータン、北朝鮮、インド、インドネシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、東チモールを含む地域で、世界人口の約25パーセントにあたる、18億人以上が暮らしています。

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2025回 例会 2014年8月26日(火)

- 国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン
- 第2790地区ガバナー 宇佐見 透
- 第12分区ガバナー補佐 高崎 信昭
- 松戸北ロータリークラブ会長 崎谷 延好
- 松戸北ロータリークラブ幹事 大川 隆永
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 びわ亭
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2025回：例会プログラム>

12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	崎谷延好会長
12:33	お客様紹介	小澤盛明会長エレクト
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告	崎谷延好会長
13:10	幹事報告	大川隆永幹事
13:15	米山記念奨学会委員会セミナー報告 会員増強委員会セミナー報告	
13:25	社会奉仕委員会 ニコニコ委員会	社会奉仕基金発表 ニコニコ発表
13:30	点鐘	崎谷延好会長



<会長挨拶：崎谷延好会長>

広島では記録的な大雨により発生した土石流で死者58人、行方不明者28人という痛ましい災害が発生いたしました。以前より大雨が起きたときは危険であると指摘されていた地域での出来事だけに、何か事前の対策が無かったものかと残念で仕方ありません。



国土交通省の発表では、急傾斜地崩壊危険箇所が全国では52万5千か所、兵庫県では2万1千、広島県では3万2千か所あると言われております。山裾に開発された住宅地が犠牲になった訳ですが何とも痛ましい事で、心より犠牲者のご冥福と被害にあわれた住民の方々にお見舞い申し上げます。

昨日、ロータリー農園を見に行きましたら、芋畑も荒されることなくすくすくと育っているようです。収穫時の子供たちの笑顔が早く見たいもので、楽しみに待っております。齋藤和實会員はじめ社会奉仕委員会の皆さんには、大変なご苦勞をおかけしますが当クラブの看板活動でございますので是非頑張って頂きたいと思っております。

皆さんご承知のようにこの活動は地区も認め、援助金まで出ている継続活動で、セミナーなどに参加していますと、何気なく他クラブの会員からお褒めのことばを頂きますと、少々優越感すら感じると次第です。是非事故なく達成したいと思いますので、会員各位におかれましては宜しくご協力お願い申し上げます。

(次ページへ)

■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■
1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。

WEEKLY REPORT

最後に継続活動の重要性をお話ししたいと思います。
新年度の各委員会セミナーも8割ほど終了したわけですが、共通の題材に会員増強の意向がひしひしと伝わり、危機感すら感じ取れる内容です。さりとして意志を同じくして活動する人材を見出すことが安易な勧誘になった場合、クラブ内が円滑さに欠ける危険性も出てくる訳で慎重な人選が不可欠になるのは当然です。
昨年の規定審議会に於いて家庭の主婦層まで会員資格を広げたとのことで、ロータリーが職業人の集まりである事を根底から覆す議決には、空いた口が塞がらないの一言です。
貧すれば鈍するとならぬよう熟考して頂きたいと思っております。

第二次大戦後、ロータリーも会員が増加して13万人を数え、それをピークに年々減少し現在では8万人台まで落ち込んでいるのが現状です。
では、どのようにして会員増強を成し得るか？ローターに入りませんか、ではなく私もロータリアンになりたいと、どうしたら言ってもらえるか？ 困難な課題ですが不可能ではないと思っております。

社会の認知度を高め、活動を理解して頂く為、今以上に継続活動に重きを置く事こそ、それを可能にする最短で且つ最強の行為と信じております。
当クラブの芋ほり、東北被災地へのピアノのメンテナンス等、継続しているからこそ話題になり、人から人へ伝わる事はどんなマスコミ媒体を利用するより強いインパクトを伝える事が可能となるのではないのでしょうか。
自分が行った些細な奉仕が人の笑顔を作った、この事だけで私はロータリーを続けていると言っても過言ではないと思っております。

以上



<幹事報告：大川隆永幹事>

- ① 当クラブの活動計画書が仕上がりました。
主な行事については、16ページの年間スケジュールをご参照ください。
9月16日ガバナー補佐公式訪問
9月30日ガバナー訪問
両日とも点鐘後クラブ協議会を行いますので、活動計画書をご持参頂きます様お願い致します。
- ② 流山中央ロータリークラブより活動計画書が届いております。
事務所に保管しておりますので、ご覧ください。
- ③ 松戸中央ロータリークラブよりメーキャップのお知らせが届いております。
8月28日(木) 12:30点鐘
伊勢丹松戸店 11階バンケットルーム
卓話者 福地真美 様(経済産業省政策局 経済社会政策室 室長)



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self ■
このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。